

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (トライアン株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取組認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7					
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・社内規定において、ハラスメント防止に関する規定を定めている。 ・社内研修を行い、相談窓口を設置している。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8						16.1					
3	人 権 ・ 労 働	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・1年単位の変形労働時間制とし、所定労働時間は1年を平均して1週42時間を上限とする労使協定を結び、協定届を所轄労働基準監督署長に提出している。 ・社員一人ひとりの時間外や有給休暇取得状況を毎月集計し、経営層へ報告をしている。 ・DX化に取り組み、業務の効率化を目指している。						8.5 8.8											
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・現在は外国人労働者を雇用していないが、過去には雇用実績あり。				4.4		8.7 8.8	10.2 10.3										
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・安全衛生委員会を設置し、毎月社内の安全衛生/ハローを実施している。 ・月に一度、安全衛生委員会が開かれ、安全衛生について報告・注意喚起を全社員に向けて行っている。 ・毎年2月にGr全社員向けに安全衛生に係わる1年間の事例を報告し、意識の向上に努めている。 ・現場、工場勤務者は毎朝朝礼を行い、危険予知活動を行っている。				3		8											
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・メンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的として、年に一度、ストレスチェックを実施している。 必要に応じて、産業医との面談を行っている。				3													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・女性も管理職として活躍している。 ・障害者の法定雇用率以上の障害者を雇用している。 ・61歳の定年以降も本人の希望により、再雇用することができる。				5.1 5.5		8.5	10.2 10.3										
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・新入社員研修や特別実務研修等、社内研修のほか、社外の各種機関が行う実務的、専門的な講習会への参加など 社員教育参加の機会を全社員に与え、費用を会社が負担している。				4	5.5		8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・原則に沿って対応し、労使協定を結んでいる。				5.5			8.5	10.2 10.3									
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・毎朝、就業開始前にラジオ体操を実施している。 ・年に一度のストレスチェックにより、メンタルヘルス不調となることを未然に防いでいる。 ・社員への健康診断を義務化し、有所見者に再検査を促している。 ・工場勤務者には特殊健康診断(騒音、紫・赤外線、じん肺)を義務付けている。 ・健康経営優良法人2026も更新している。				3		8											

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・産業廃棄物はマニフェスト管理を徹底しており、排出先業者の管理を行っている。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・工場棟に太陽光パネルを設置し、受給電力量はリアルタイムで把握している。 【予定】 ・社内のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を“見える化”し、そのうちのどれくらいが太陽光パネルで賄えているか把握する。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・夏場はノーネクタイでの執務を可能とし、エアコンの設定温度も26℃～28℃までとするなどクールビズを推進している。 【予定】							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・工場で利用している塗料は法令に基づき適正に利用、処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・橋梁工事には、無塗装でも錆びない製品を使用し、塗料による自然への悪影響に配慮している。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・社内文書のペーパレス化や、コピー用紙の裏紙再利用を推進している。 ・プラスチックやビン、缶、紙類等のゴミの分別を推進している。 ・ペットボトルのキャップを回収し、エコキャップ運動に努めている。												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・工事用水は井戸水を使用している。 ・蛇口の一部を自動水栓へと変更した。 【予定】 ・節水型設備(トイレや蛇口)の導入を推進していく。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	【予定】 ・エコアクション21の取得を目指す。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			【予定】 ・太陽光使用量その他、今後の環境への取り組みについて社内だけでなく、ホームページ等を利用して社外にも												12.6					
20	環境	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・工場棟の屋根に太陽光パネルを設置し、年間平均 約 49,000KWのグリーン電力の使用に努めている。 ・現場では交通表示版等に太陽光発電機材を使用している。							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・工事用水に井戸水を使用、工事用材料に県産材を使用している。 ・太陽光パネルの設置により、枯渇しない天然資源を利用している。												12.2	13	14	15		

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
22	公正な 事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・就業規則内に法令違反行為の罰則規定を明記し、入社研修時に就業規則の読み合わせ・説明を実施している。 【予定】 ・社内規定の内容をわかりやすいものに見直し、社員へ周知する。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・就業規則内に法令違反行為の罰則規定を明記し、入社研修時に就業規則の読み合わせ・説明を実施している。 【予定】 ・社内規定の内容をわかりやすいものに見直し、社員へ周知する。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・商標等の知的財産について、登録・管理を行っている。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・特定個人情報の取り扱いに関する規定が定められている。 ・社員個人のマイナンバーは鍵付きキャビネットで保管し、利用する際は記録に残すなど管理方法も徹底している。 【予定】 ・セキュリティ管理規則を定め、適切な管理と社内教育を実施する。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)	【非該当】		・現在取り扱っておらず、今後も取り扱う予定はない。																16	
27	製品・サービス	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・協力業者会の中で、人権侵害やハラスメントへの取組状況を報告し、情報共有に努める。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10							17
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・検査票の作成と社内検査の実施により、厳格な製品管理をしている。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・品質マネジメントシステム(ISO9001:2015)を取得し、それに則って品質を管理している。									9								
31	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)	【非該当】		・事業として、現在製品の開発や設計は行っていない。						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・無塗装でも錆びない製品を使用し、環境問題に配慮している。 ・落石防護柵の設置など、災害防止に寄与している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

(様式第3号)

企業・団体名 (トライアン株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
33	地域貢献・ 社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			・工事着工前に地元説明会を開催し、地域住民の方たちの声を聞き、住環境に支障が出ないように対応している。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・台風災害のボランティア実績があり、今後も災害等が起きた際には社員が率先してボランティア活動に参加する社風や、経営方針がある。 ・毎月実施されている社内の安全衛生パトロールの際、屋外チームは敷地外のゴミ拾いを行っている。 ・社員各々が、それぞれの地域のゴミ拾い等に参加している。 【予定】 ・「長野市ごみゼロ運動」等の活動に会社としても積極的に参加し、犀川河川敷のゴミ拾いを行う				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			・工事用材料に極力、県産材を利用している。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 （必須）			・経営目標、方針、課題、行動指針を明文化し、年1回社員全員に共有している。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			・全社課題のひとつに法令遵守があり、公平な入札を行うよう経営者からの発信・指示があった。現時点での法令違反はない。 ・入社時に「飲酒運転しないさせない誓約書」への署名を徹底している。 【予定】 ・コンプライアンスに関する社内教育の徹底を図る。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）		【予定】	・現在は企画管理本部が担当しているが、今後は自社活動が与える影響を洗い出し、責任者（担当役員）を決める。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			・工事請負の際、発注者との密な協議を重ねることで円滑な工事運営を行っている。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）		【予定】	【予定】 ・現在、部門ごとの事業目標・個人での行動目標を年に1度設定し、中間と期末に自己及び上長評価を受けている。今後はリスクを洗い出し、どのように取り組むかを個人で記入できるよう内容を見直していく。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		【予定】	【予定】 ・CSR方針を策定し、社内周知を行う。																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			・災害事業計画を作成し、長野県に提出済。								9		11		13 13.1				16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			・継続的な人材採用と教育、育成を行っている。 ・本年度の全社計画として、中長期を予想、予測した事業変革を取り入れている。							8	9									17

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定